



# 認定看護師通信



2022年11月発行  
Vol.41

～植え込み型補助人工心臓（VAD；バド）という言葉を知っていますか？～

十分に血液を送りだせなくなった心臓を補助するために、ポンプを体内に植え込み、血液を全身に送る装置のことです。

## 補助人工心臓（VAD）の役割

- BTT** (Bridge to Transplantation) : 心臓移植までの橋渡し
- BTR** (Bridge to Recover) : 心臓の機能回復までの橋渡し
- DT** (Destination Therapy) : 心不全治療としての恒久的使用

日本における心臓移植の待機期間は、1,184.4日（約3年3か月）です。日本では、補助人工心臓の役割は**BTT**に限定されてきました。

しかし、2021年5月からは保険適応となり、重症心不全に対する最終的な治療法として心臓移植適応がなくとも**DT**が認められるようになりました。治療の選択肢が広がったのです。

まだまだ、植え込み型人工心臓は遠い存在だと思われるかもしれませんが、しかし近い将来には、ペースメーカーのように、今よりもっと身近な存在になっているかもしれません。少しでも多くの方に関心を持ってもらえればと思います。



文責：慢性心不全看護認定看護師 岩川 美子

## 今更ですが化学療法室をご紹介します

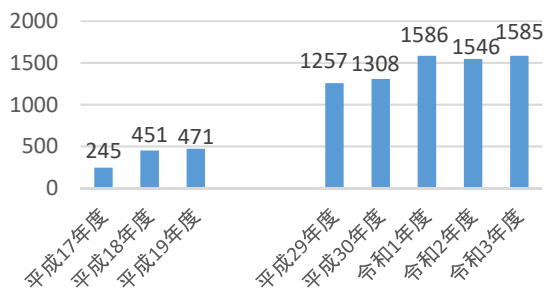
化学療法室はどこにあるかご存じですか？東ブロックの一角、整形外科外来の向かい側にあります。化学療法室は2003年に現糖尿病・内分泌内科の隣にベッド3床でスタートし、2008年に現在の場所に移転し、5床に増床し現在に至ります。来年10月の新病院へ移転の際には8床（ベッド6台、リクライニングチェア2台）に増床予定です。

抗がん剤の副作用に対する支持療法薬の登場などによって、より安全に外来で治療を行うことが可能となり、入院から外来へと治療の場が変化し、当院の外来化学療法の件数は下記のグラフのように年間1500件を超えるようになりました。

患者さんが安全に確実な治療が受けられるように、また、身体的なつらさだけでなく、精神的なつらさに対しても医師・薬剤師・看護師・MSWなど多職種のスタッフで支援を行っています



外来化学療法件数



文責：がん化学療法看護認定看護師 森田 茂美